



市議会議員
上田由美子
☎ 68-2106
Fax 68-2146



参議院議員
井上さとし



前衆院議員
藤野保史

市が適格者名簿を自衛隊に提出

市民団体が抗議 「個人情報を提供しないように」

市長に「自衛隊員募集のため個人情報の積極的提供を行わないよう求める要請書」を8月26日、新婦人小矢部支部、小矢部平和委員会、富山県高等学校教職員組合の代表者が提出しました。3月16日に続く2回目の要請です。

応対した市民課長は、①令和4年度（22年度）に初めて465人の「令和5年度に18才および22才になる小矢部市民の方」の氏名、住所、生年月日、性別を、紙媒体で自衛隊に提供した、②令和3年度までは、「住民基本台帳の閲覧」という方法で開示してきたと事実関係を述べました。

申し入れた3者は、「住民基本台帳法が個人情報の漏洩防止のために、手間のかかる『閲覧』しか認めていないにもかかわらず、市が防衛省の便宜を重視して、市民の利益を裏切る結果となっており、納得できない。」「市のホームページで今回の変更を広報しているというが、ほとんどの若者は自分の情報が洩れていることさえわからない」と抗議し、「提供を希望しないものは、自分の情報だけでも除外できる仕組みを導入すべきだ」と強く求めました。



9月議会

一般会計補正予算案

子どものインフルエンザ予防接種 1回3千円助成

9月市議会定例会が9月6日に始まり、8日の本会議で一般会計補正予算案が提出されました。

一般会計補正予算には、インフルエンザ予防接種の助成費、小学生から18歳年度末までの子どもの予防接種費用1回3000円分、計433万3千円が含まれています。当初予算では、小学校入学前1回3000円と小中学生1回1000円でしたが、今回増額されるとともに、高校生の年代も含まれています。

新型コロナワクチン接種経費を増加

新型コロナワクチン接種経費の増として2378万円、接種体制

解説

戦争する国づくりへ、法令違反に走る岸田自公政権

小矢部市が初めて自衛隊に名簿を「提供」したのは、22年度（令和4年度）です。これは、住民基本台帳法、小矢部市個人情報保護条例から見ても問題です。住民基本台帳法は、法令で定める事務に必要な場合に「閲覧させることができる」としています（法第11条第1項）。小矢部市個人情報保護条例では法令による場合以外は個人情報提供してはならない」と定めています（条例第11条）。ですからこれまで自衛隊にもずっと「閲覧」しか認めてこなかったのです。

市が取り扱いを変えた原因が、防衛省・総務省連名の課長名による2021年2月5日付の「技術的指導」という法令に基づかない地方自治体への要請にあります。法令に基づいていませんから、地方自治体は「地方自治の本旨（憲法）に基づいて判断すればよく、この要請にこたえる義務はありません。」

名簿を提供させる背景に、自衛官採用が困難になっている実態があるようです。22年度の応募者数は前年に比べて1万人近く減少し、過去10年間で初めて8万人を割りました（防衛白書）。岸田自公政権による海外で戦争できる「戦争国家づくり」が進められ、「自衛隊員が本場に戦争に投入されるのでは」と危惧する人がひろがっています。市が提供した名簿で、自衛隊に勧誘され、海外での戦争にかり出されるおそれがあります。これは、本人と家族の「権利利益を不当に侵害することになり、個人情報保護条例で「個人情報を提供できる」とする例外（条例第11条2項）には該当しません。」

確保経費の増として2460万円が含まれています。

上田由美子市議が民生文教常任委員に

議会の組織変更に伴い、上田由美子市議は民生文教常任委員となりました。ひきつづき総合計画特別委員をつとめます。

上田市議の一般質問

上田市議の一般質問は9月15日です。

- 子ども医療費の富山県外での窓口無料制度について
- 庄川上流での産業廃棄物最終処分場建設について
- オーガニックビレッジ宣言について
- 今の健康保険証を廃止することについて